

Twitter・メルマガ更新中!!

北海道の教育に関する情報を  
随時お知らせしています。

【Twitter】



【メルマガ】



■発行・編集  
北海道教育庁総務政策局教育政策課  
〒060-8544 札幌市中央区北3条  
西7丁目  
TEL:011-204-5717

# 感染症対策の徹底を 保護者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症への対応については、どれほど対策を徹底しても感染リスクをゼロにすることはできません。

しかし、どのような状況下であっても、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもたちの命と学びを守っていかねければなりません。

道内の全ての学校において、感染防止の徹底と学びの確保が図られるよう、今後も万全を期してまいりますので、保護者の皆さまにおかれましても、下記の記事も参考にいただき、引き続き家族ぐるみ・地域ぐるみの感染予防へのご協力をお願いいたします。



新教育長 倉本 博史

～夏を健康に過ごすために～

## 新型コロナウイルス感染予防

### × 熱中症予防

#### コロナ対策&ストレス対処法になる習慣

- 学校に行くときと同じ時間に起きて、カーテンを開けて太陽の光を浴びる。
- 朝ごはんを食べる、検温して健康チェックをする。
- ゲームやタブレットなどは、寝る予定時間の2時間前くらいに終了する。
- 「楽しい」と思うことを行う時間をつくる。
- 1日15分程度体を動かす。

オススメ



YouTube<sup>jp</sup>

チョコ・ダンII

「チョコット・ダンス」(通称「チョコ・ダン」)は、「短い時間でリフレッシュ」をテーマに創作したダンスエクササイズです。



#### 熱中症予防

- 「のどが乾いた」と思う前に水分補給。
- 日陰を利用して、熱いところを避ける。
- 外では、帽子をかぶる。
- 「意識がおかしい」「自分で水分がとれない」ときは、ためらわずに救急車を呼ぶ。
- マスクを外す場合には、できるだけ人との十分な距離を保ち、近距離での会話を控える。



#### 新型コロナ感染症に関する情報サイト

北海道教育委員会では、学校・家庭・地域が連携し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することができるよう、北海道教育委員会のホームページに「新型コロナウイルス感染症に関する情報サイト」を設定し、定期的に更新しています。

当サイトには、学校や家庭における健康観察や手洗い、消毒などの基本的な対策や3つの密の回避の方法などについて掲載していますので、ぜひ御覧いただき、参考にしてください。



## ネットトラブルの防止のために!

被害者にも加害者にもならないために、夏休みに、ネット利用について子どもたちと話し合みましょう!

- ①安全のためのフィルタリング設定を!
- ②子どもと話し合い、ルールづくりを!
- ③子どものネット利用状況の把握を!



ネットトラブル関係  
はこちらから



## 夏休みの安全な過ごし方について話し合みましょう!

例年、夏休み中に自転車を利用中の交通事故や遊泳に適さない場所での水難事故が発生しています。

安全な過ごし方について子どもたちと話し合い、ルールを確認しましょう。



- ①交通安全や自転車のルール!
- ②遊びに出掛ける時のルール!

## 子ども相談支援センターをご利用ください!

- ・子どもや保護者の方から相談を24時間、受け付けます。
- ・名前を言わなくても相談できます。
- ・相談の秘密は守ります。
- ・感染症に関連した差別や偏見の相談も受け付けます。

#### 相談の例

- ・いじめ ・不登校 ・学習 ・進路 ・先生のこと
- ・友人のこと ・生活のこと ・家族のこと
- ・LGBT ・性被害(嫌な思いをしたこと)

電話相談 0120-3882-56 (無料)

メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※返信は、数日かかることがあります。  
お急ぎの場合は、電話相談をご利用ください。



# ICTの活用で協働的な学びを～GIGAスクール構想の実現に向けて～

教師や子どもたちの力を最大限引き出すために教育ICT環境を整備する「GIGAスクール構想」により、ほぼ全ての小・中学校において1人1台端末環境が実現しました。新型コロナウイルス感染症の拡大などの非常時においても、学習を継続するためにICTの活用が始まっています。

現在、学校では本格的な活用に向けた研修や授業実践などが行われていますが、こうした中、学校が一体となってICT活用を進めている共和町立東陽小学校の取組を紹介します。



## 共和町立東陽小学校 | 第5学年 社会科「自然災害とともに生きる」の授業

地域の自然条件と災害対策の関連について調べたことを、ICTを活用して他校の子どもたちと伝え合いました。ICTを用いることにより、遠く離れた学校の子もたちとその場でコミュニケーションがとれるので、発表や質問をしながら様々な地域の災害対策について理解を深め、主体的に問題を解決しようとする態度を養う授業となりました。



ウェブ会議システムとクラウドサービスを活用して、他校の子どもたちに発表や質問を行いました。



他校の子どもたちからの質問には、ICTを用いて回答しました。ICTを用いることで多様なコミュニケーションが可能になります。



自分の考えをワークシートにまとめました。ICTの活用に終始せず、これまでの学びのよさも生かした授業が行われています。

## 「夢は、地元でつかみ取る。」～すべての地域で質の高い高校教育を～

### 遠隔授業配信拠点 T-base (ティーベース) 始動中

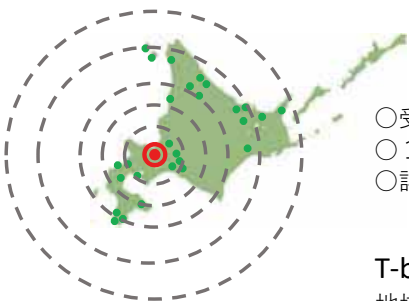
受信校では、遠隔授業を活用して大学等への進学から就職までの多様な進路希望に対応する教科・科目を開講し、生徒の自己実現をバックアップします。

遠隔授業

画面越しにリアルタイムでコミュニケーションを取りながら授業を行います。

対面授業

従来どおりの対面授業も行います(T-baseの先生も受信校で授業を行います)。



- 受信校27校
- 1年生から順に配信
- 詳細はこちら  
(高校教育課HP) →



T-baseとは、有朋高校内に開設した、遠隔授業の機能を集中化した「北海道高等学校遠隔授業配信センター」の愛称です。地域の小規模校や離島にある道立高校に対し、専任の教員が授業(習熟度別授業や選択授業)を配信します。

## ネイパルのご案内

道立青少年体験活動支援施設ネイパルは道内6か所(砂川市、深川市、森町、北見市、足寄町、厚岸町)にあり、学校の宿泊学習や各種団体の研修のほか、**ご家族やグループ単位でも**気軽に利用でき、自然体験を楽しめます。



親子やお子さんのみで参加できる主催事業も実施しています。詳しくは各ネイパルのホームページをご覧ください。



ネイパル

検索



※ご利用いただく際は、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応をお願いしているほか、感染状況によってはご利用いただけない場合があります。

## 社会教育主事講習

～学びの専門家を養成～

民間の方々も対象となる「社会教育士」の称号が付与されます。

[詳細情報]生涯学習推進センターHP

(<https://manabi.pref.hokkaido.jp/center/works/index.html>)

※12月～1月に開催する「B日程」については10月頃に情報を掲載予定。